ＰＤＣ－６４３

セットアップマニュアル

ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｖ１（ＫＢ/ＩＦ仕様）
ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｄ２（ＲＳ２３２Ｃ仕様）

日本システム開発株式会社

１．セットアップマニュアルの使い方
２．設定操作の方法
３．磁気カードデータ設定
４．バーコードデータ設定
５．テンキー設定
６．RS1 コネクタ接続データ設定
７．RS2 コネクタ接続データ設定
８．その他機能設定
９．セットアップ保存
10．コマンドコード早見表

■ ＫＢ／ＩＦ仕様
■ ＲＳ２３２Ｃ仕様

目次

1．セットアップマニュアルの使い方 1

1-1 設定一覧表 2

2．設定操作の方法 3

2-1 設定操作の準備 3
2-2 設定操作の手順 3
2-3 エスケープ機能 4
2-4 セットアップ開始／終了 5

3．磁気カードデータ設定 7

3-1 入力データ設定 7
3-1-1 磁気カード入力設定 7
3-1-2 読取りデータ種別設定 8
3-1-3 読取りデータ桁数設定 9
3-2 データ伝送設定 10
3-2-1 データ伝送フォーマット 10
3-2-2 データ伝送機能一覧 10
3-2-3 データ伝送機能の設定 11

4．バーコードデータ設定 17

4-1 読取りデータ設定 17
4-1-1 読取り及び、Ｃ/Ｄコード付加設定 17
4-1-2 <FNC1>任意変換設定（CODE128/EAN-128） 21
4-1-3 読取りデータ桁数設定 23
4-2 データ伝送設定 24
4-2-1 データ伝送フォーマット 24
4-2-2 データ伝送機能一覧 24
4-2-3 データ伝送機能の設定 25

5．テンキー設定 33

5-1 ＫＢ/ＩＦ仕様 33
5-1-1 キー出力機能の一覧（KB/IF 仕様） 34
5-1-2 テンキー入力設定（KB/IF 仕様） 34
5-1-3 数字キー（０～９）コード切替え設定（KB/IF 仕様） 35
5-1-4 任意キー、モディファイアキー初期化設定（KB/IF 仕様） 35
5-1-5 任意キー設定（KB/IF 仕様） 36
5-1-6 モディファイアキー設定（KB/IF 仕様） 38

5-2 ＲＳ２３２Ｃ仕様 40
5-2-1 キー出力機能の一覧（RS232C 仕様） 41
5-2-2 テンキー入力設定（RS232C 仕様） 41
5-2-3 任意キー初期化設定（RS232C 仕様） 41
5-2-4 任意キー設定（RS232C 仕様） 42

6．ＲＳ１コネクタ接続データ設定 45

6-1 ＲＳ１コネクタ接続について 45
6-1-1 通信パラメータ設定 46
6-1-2 通信プロトコル設定 48
6-1-3 受信タイムアウト設定 49
6-1-4 受信データ桁数設定 50
6-2 データ伝送設定 51
6-2-1 データ伝送フォーマット 51
6-2-2 データ伝送機能一覧 51
6-2-3 データ伝送機能の設定 52

7．ＲＳ２コネクタ接続データ設定 57

7-1 ＲＳ２コネクタ接続について 57
7-1-1 通信パラメータ設定 58
7-1-2 通信プロトコル設定 59
7-1-3 データ送信モード設定 60
7-1-4 ＣＴＳ監視タイムアウト設定 60
7-1-5 ＡＣＫ／ＮＡＫ応答タイムアウト設定 61

8．その他機能設定 63

8-1 伝送時間調整設定（文字間ディレイ） 64
8-2 出力文字の大小監視設定 65
8-3 ＫＢ/ＩＦ仕様接続対応設定 66
8-3-1 CapsLock 監視設定 66
8-3-2 ローマ字モード監視設定 66
8-3-3 NumLock 監視設定 67
8-3-4 使用ＯＳ設定 67
8-4 ブザー調整設定 68
8-5 セットアップ内容表示 69

9．セットアップ保存 71

9-1 保存部、情報部 71
9-2 セットアップ終了 72

10．コマンドコード早見表 73

10-1 コマンドコード 73

1. セットアップマニュアルの使い方

本書は、マルチリーダテンキー付 ＰＤＣ－６４３（以下、本機と呼びます）の設定方法について説明したものです。
別紙の「ＰＤＣ－６４３ 取扱説明書」と合わせてお読み下さい。

本書により、いろいろな運用方法に合わせた設定が可能となります。

■読取った磁気カード、バーコードデータにデータを付加できます。
■磁気カード、バーコード毎に読取り制限が可能です。

■使用したい任意のキーをテンキーに割りあてることができます。

設定は、本書のバーコードラベルを本機に接続したバーコードスキャナで読取るか、
バーコードラベル下の数字コードを本機テンキーで入力することで簡単に行えます。
データ及び、機能毎に設定する内容を選択し、「 2．設定操作の方法 」（P.3）の手順で
設定コードを入力して下さい。

注）本書、表記上で以下のものを使用しています。

KB/IF　仕様 … ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｖ１
キーボードインターフェース接続仕様を示します。
RS232C　仕様 … ＰＤＣ－６４３－ＸＸＸ－Ｄ２
RS232C インターフェース接続仕様を示します。

注）バーコードラベル下の数字コードは以下のものでも入力することが出来ます。

KB/IF　仕様 … 接続したパソコンキーボード。
RS232C　仕様 … パソコンなどの通信アプリケーションからの送信。
通信条件は固定(2400BPS,8ﾋﾞｯﾄ,Noneﾊﾟﾘﾃｨ,1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ)。

注）工場出荷時、デフォルトの設定について

各設定のデフォルト（初期）設定は、［ ］で囲まれた設定コードとなります。

1-1 設定一覧表

本機セットアップで設定できる項目の一覧を示します。

■磁気カードデータ設定
- 3-1-1 磁気カード入力
- 3-1-2 読取りデータ種別
- 3-1-3 読取りデータ桁数
  - ⟨A⟩ 先頭コード付加　⟨B⟩ データタイプコード付加　⟨C⟩ データ体系コード付加
  - ⟨D⟩ 入力データ桁数付加　⟨E⟩ 読取データ　⟨F⟩ 後頭コード付加

■バーコードデータ設定
- 4-1-1 読取り及び、C/D コード付加
- 4-1-2 <FNC1>任意変換設定（CODE128/EAN-128）
- 4-1-3 読取りデータ桁数
- 4-2-3 データ伝送機能
  - ⟨A⟩ 先頭コード付加　⟨B⟩ データタイプコード付加　⟨C⟩ データ体系コード付加
  - ⟨D⟩ 入力データ桁数付加　⟨E⟩, ⟨F⟩ スタート/ストップコード付加　⟨G⟩ 後頭コード付加

■テンキー設定（ＫＢ/IF、ＲＳ２３２Ｃ仕様）
- 5-1-2 テンキー入力設定
- 5-1-3 数字キー（0～9）コード切替え
- 5-1-4 任意キー、モディファイアキー初期化
- 5-1-5 任意キー
- 5-1-6 モディファイアキー
- 5-2-2 テンキー入力設定
- 5-2-3 任意キー初期化
- 5-2-4 任意キー

■ＲＳ１コネクタ接続データ設定
- 6-1-1 通信パラメータ
- 6-1-2 通信プロトコル
- 6-1-3 受信タイムアウト
- 6-1-4 受信データ桁数
- 6-2-3 データ伝送機能
  - ⟨A⟩ 先頭コード付加　⟨B⟩ データタイプコード付加　⟨C⟩ 入力データ桁数付加
  - ⟨D⟩ 後頭コード付加

■ＲＳ２コネクタ接続データ設定
- 7-1-1 通信パラメータ
- 7-1-2 通信プロトコル
- 7-1-3 データ送信モード
- 7-1-4 ＣＴＳ監視タイムアウト
- 7-1-5 ＡＣＫ/ＮＡＫ応答タイムアウト

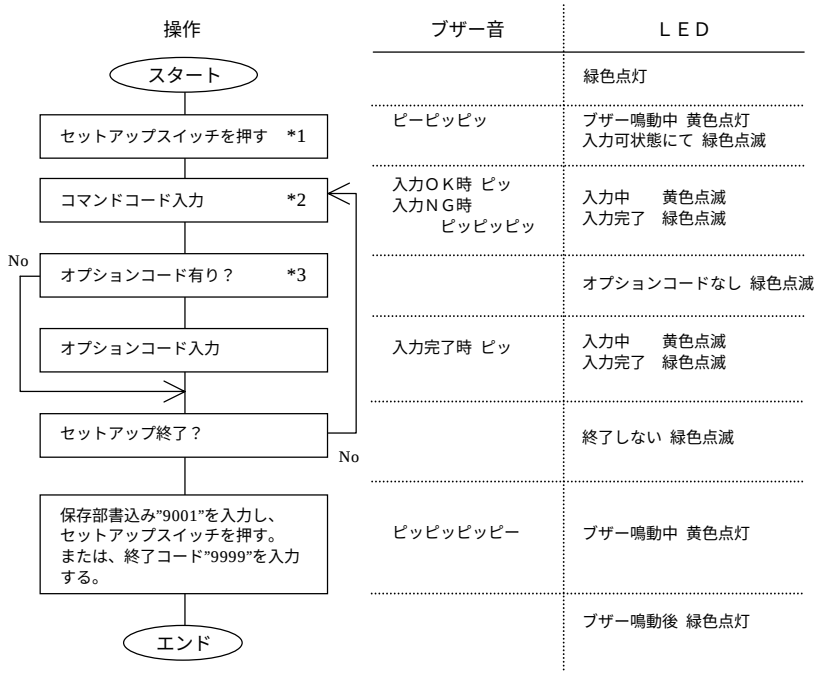
■その他機能設定
- 8-1 データ伝送時間調整（文字間ディレイ）
- 8-2 出力文字の大小監視
- 8-3 ＫＢ/IF接続対応
  - 8-3-1 ＣａｐｓＬｏｃｋ監視
  - 8-3-2 ローマ字モード監視
  - 8-3-3 ＮｕｍＬｏｃｋ監視
  - 8-3-4 使用ＯＳ
- 8-4 ブザー調整
- 8-5 セットアップ内容表示

2. 設定操作の方法

2-1 設定操作の準備

本機を取扱説明書に記載している接続方法に従って接続し、パソコンの電源を投入してください。パソコンが本機をキーボードインターフェース機器（KB/IF 仕様）、またはRS232C インターフェース機器（RS232C 仕様）として認識し、ＬＥＤが緑色点灯していることを確認してください。
設定は本機テンキー及び、バーコードスキャナ（RS232C 接続）で行います。

2-2 設定操作の手順



【備 考】
***1）** セットアップスイッチは、本機底面にあります（表記 SET）。
***2）** コマンドコード ： 各設定を行うバーコードラベル（本書記載）の4桁コードです。
***3）** オプションコード： コマンドコード入力後に入力する3桁のコードです。

2-3 エスケープ機能

エスケープ機能 … 数字（0～9）以外の全てのキー入力で行えます。

コマンドコードの入力を誤った時にキャンセルできる機能です。
コマンドコード入力をテンキーで行った時、またはオプションコード入力をバーコード、テンキーで行った時に入力コードをキャンセルすることができます。
本機能は、以下の時有効となります。

■コマンドコード（4桁）入力時
テンキーにて3桁までの入力状態。
バーコードでの入力は、一括で4桁入力するのでエスケープ機能は無効です。

■オプションコード（3桁）入力時
テンキー、バーコード入力共に2桁まで入力状態。

■オプションコード（4桁）入力時
テンキー、バーコード入力共に3桁まで入力状態。

本機能にてコード入力をキャンセルした場合、次の入力は必ずコマンドコード入力から開始となります。
本機能を動作させるまでに確定（入力完了※1）した設定内容は有効となっています。

数字（0～9）キー以外はキーを押下すると、ブザーが「ピピッ」と鳴ります。

※1：入力完了
コマンドコードのみで入力完了する設定と、コマンドコード＋オプションコードの入力で完了する2通りの設定があります（詳細は、各設定ページを参照）。

○コマンドコード（4桁）の場合 ： LEDは緑色点滅状態

	キー入力順序	結果
正常入力	（入力待ち）→ 1 → 2 → 3 → 4	コマンドコード “1234”入力完了
エスケープ入力	（入力待ち）→ 1 → 数字以外	“1”をキャンセル
	（入力待ち）→ 1 → 2 → 数字以外	“12”をキャンセル
	（入力待ち）→ 1 → 2 → 3 → 数字以外	“123”をキャンセル

【備 考】 コマンドコードをバーコードにて入力する場合、本書記載の4桁バーコードのみ入力可能です。

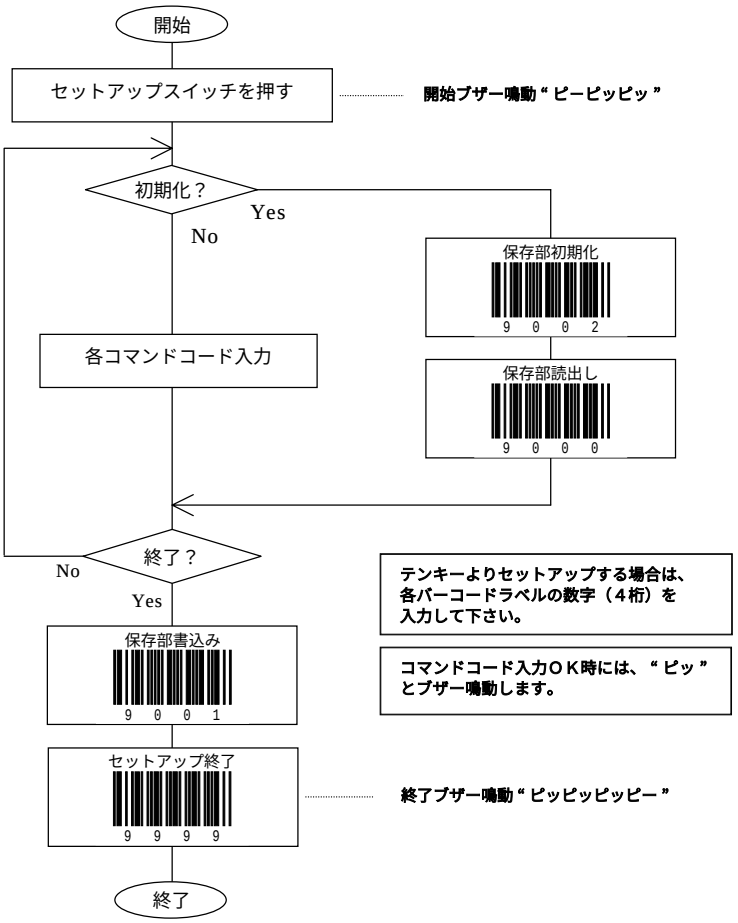
○オプションコード（3桁）の場合 ： LEDは緑色点滅状態

	キー入力順序	結果
正常入力	（入力待ち）→ 1 → 2 → 3	オプションコード ”123”入力完了
エスケープ入力	（入力待ち）→ 1 → 数字以外	“1”をキャンセル
	（入力待ち）→ 1 → 2 → 数字以外	“12”をキャンセル

【備 考】 オプションコード（4桁）の場合は、コマンドコード（4桁）の場合と同様になります。

2-4 セットアップ開始／終了

開始：本機底面にあるセットアップスイッチ（表記 **SET**）をボールペンの先等で押します。
終了：セットアップ終了コード“ **9999** ”をテンキーで入力するか、バーコードを読取ります。またはセットアップスイッチを押して下さい。



3. 磁気カードデータ設定

3-1 入力データ設定

磁気カードデータの入力に対し制限できる設定です。

■磁気カード入力設定 ◎磁気カード入力を設定します。	■入力 許可 禁止	設定ページ 7
■読取りデータ種別設定 ◎磁気カードをデータ種別毎に、読取り設定をすることができます。	■種別 **JIS- II** **Unisys**	設定ページ 8
■読取りデータ桁数設定 ◎入力データ桁数を設定し、読取る磁気カードを限定することができます。	■桁数設定 最小読取り桁数 送出先頭桁数 送出桁数 最大読取り桁数	設定ページ 9

3-1-1 磁気カード入力設定

磁気カード入力の許可／禁止の設定ができます。

①コマンドコード

磁気カード入力設定

[許可]

3 0 8 0

禁止

3 0 8 1

3-1-2 読取りデータ種別設定

磁気データの種類毎に、読取りの許可／禁止の設定ができます。

①コマンドコード

JIS-Ⅱカードの読取り設定

読取り禁止

3 3 8 0

読取り可ヘッダ=□□ ***1**

3 3 8 1

読取り可ヘッダ=数字のみ

3 3 8 2

[ヘッダ=Don't care]

3 3 8 3

Unisysカードの読取り設定

読取り禁止

3 4 8 0

読取り可ヘッダ=□□ ***1**

3 4 8 1

読取り可ヘッダ=数字のみ

3 4 8 2

[ヘッダ=Don't care]

3 4 8 3

JIS-Ⅱ／Unisysカードのヘッダ付加設定 *2

無付加

3 6 8 0

[付加]

3 6 8 2

【備 考】 *1） □はスペースコードです。

***2）** 無付加を設定した場合、データ先頭2桁を出力しません。

3-1-3 読取りデータ桁数設定

読取った磁気カードデータの送出先頭桁、送出桁数を設定することで必要なデータのみを抜取り、パソコンに送出することができます。また、最小／最大読取り桁数を設定することで、設定桁範囲外の磁気カードを読取らないようにできます。
本設定には全てオプションコード（3桁）設定が必要です。

①コマンドコード

データ桁数制限設定

最小読取り桁数
3 9 0 0

送出先頭桁
3 9 0 1

送出桁数
3 9 0 2

最大読取り桁数
3 9 0 3

②オプションコード

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

◆設定例…磁気カードの読取りにおいて、最小読取り桁数を5桁に設定する場合。
①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『最小読取り桁数設定 “3900”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③5桁に設定する3桁のオプションコードとして、“005”を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

3-2 データ伝送設定

3-2-1 データ伝送フォーマット

読み込んだ磁気データは、下記のフォーマットでパソコンへ送出します。

A	B	C	D	磁気データ	E

3-2-2 データ伝送機能一覧

A	**先頭コード付加（1桁）**	■付加コード **FULL KEY** 改行 **TEN KEY** 改行 実行 **KEY(Ctrl)** その他、任意データ	設定ページ 11
◎読取ったデータの先頭に、任意のデータを付加することができます。			

B	**データタイプコード付加（1桁）**	■付加データタイプ 磁気データ → M	設定ページ 13
◎読取ったデータの前に、磁気データのデータタイプを付加することができます。			

C	**データ体系コード付加（1桁）**	■データ体系 **ＪＩＳ-Ⅱ → 2** **ＵＮＩＳＹＳ→ U**	設定ページ 13
◎読取ったデータの前に、磁気データの体系コードを付加することができます。			

D	**入力データ桁数付加**	■付加桁数 ３桁（001～099） ２桁（01～99） 10 進数表示	設定ページ 13
◎読取ったデータの桁数を、データの前に付加することができます。			

E	**後頭コード付加（1桁）**	■付加コード **FULL KEY** 改行 **TEN KEY** 改行 実行 **KEY(Ctrl)** その他、任意データ	設定ページ 14
◎読取ったデータの後ろに、任意のデータを付加することができます。			

3-2-3 データ伝送機能の設定

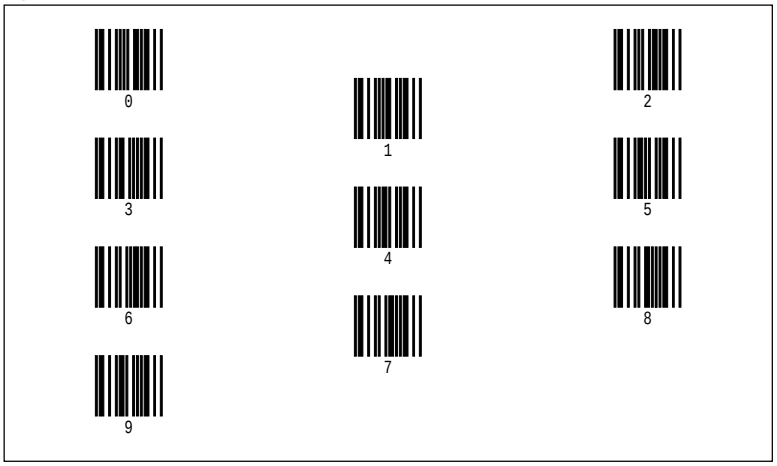
(A) 先頭コード付加

読取った磁気データの前に、任意のデータを付加することができます。

①コマンドコード

【備 考】 ***1**) 任意データ付加 (3504) を設定した場合、②オプションコード(3桁)を入力してください。

②オプションコード



◆設定例…磁気データに“G”のコードを先頭付加コードとして設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『先頭コード付加設定 “3504” (任意データ付加)』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表 (次ページ) から“G”に該当する3桁“071”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します (表の見方 “G” → 064 + @(7) = 071)。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	/
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	_
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘＊’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	/
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	_
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

(B) データタイプコード付加

読取った磁気データにデータタイプとして‘M’を付加することができます。
バーコードや他の入力データとの区別のためにデータに付加します。

①コマンドコード

データタイプコード付加設定

［無付加］

付加

(C) データ体系コード付加

読取った磁気カードの種類を表すデータ体系コードを付加することができます。
複数の磁気カードを区別するために有効な設定です。

①コマンドコード

データ体系コード付加設定

［無付加］

付加

(D) 入力データ桁数付加

読取った磁気カードのデータ桁数を付加することができます。
１0進数表示で3桁、及び2桁の設定が可能です。

①コマンドコード

入力データ桁数付加設定

［無付加］

３桁付加

２桁付加

(E) 後頭コード付加

読取った磁気データの後ろに、任意のデータを付加することができます。

①コマンドコード

後頭コード付加設定

［無付加］ 3 7 0 0

FULL KEY 改行 3 7 0 1

TEN KEY 改行 3 7 0 2

実行 KEY(Ctrl) 3 7 0 3

任意データ付加 *1 3 7 0 4

［備 考］ *1) 任意データ付加 (3704) を設定した場合、②オプションコード(3桁)を入力してください。

②オプションコード

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

◆設定例…磁気カードのデータに“P”のコードを後頭付加コードとして設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『後頭コード付加設定 “3704” (任意データ付加)』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表 (次ページ) から“P”に該当する3桁“080”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します (表の見方 “P” → 080 + @(0) = 080)。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘＊’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

4. バーコードデータ設定

4-1 読取りデータ設定

弊社で設定したスキャナでのバーコードデータの入力に対し制限できる設定です。

■読取り 及び C/Dコード付加設定 ◎バーコードの種別毎に読取り設定ができます。 C/Dコードの付加を設定できます。	■読取りコード **CODE128** **CODE93** **EAN-128** **ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2of5** **ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2of5** **CODABAR(NW7)** **CODE39** **JAN/EAN/UPC** **UPC-E**	設定ページ 17
■<FNC1>任意変換設定 ◎**CODE128，EAN-128** に含まれる**<FNC1>**コードを任意のデータに設定することができます。	■変換コード 任意データ表	設定ページ 21
■読取りデータ桁数設定 ◎入力データ桁数を設定し、読取るバーコードを限定することができます。	■桁数設定 最小読取り桁数 送出先頭桁数 送出桁数 最大読取り桁数	設定ページ 23

4-1-1 読取り及び、C/Dコード付加設定

①コマンドコード

CODE128読取り設定

読取り禁止

[読取り許可]

CODE93読取り設定

読取り禁止

2 0 2 0

［読取り許可］

2 0 2 2

EAN-128読取り設定

読取り禁止

2 0 3 0

［読取り許可］

2 0 3 2

インダストリアル2of5　読取り、C/D付加設定

読取り禁止

2 1 7 0

［読取り可C/D無し］

2 1 7 1

読取り可　C/D有　C/D非送出

2 1 7 2

読取り可　C/D有　C/D送出

2 1 7 3

インターリーブド2of5　読取り、C/D付加設定

読取り禁止

2 2 7 0

［読取り可C/D無し］

2 2 7 1

読取り可　C/D有　C/D非送出

2 2 7 2

読取り可　C/D有　C/D送出

2 2 7 3

CODABAR読取り、C/D付加設定

読取り禁止

2 3 7 0

［読取り可 C/D無し］

2 3 7 1

読取り可
ｾﾌﾞﾝﾁｪｯｸ有り C/D非送出

2 3 7 2

読取り可
ｾﾌﾞﾝﾁｪｯｸ有り C/D送出

2 3 7 3

読取り可
ﾓｼﾞｭﾗｽ 16 ﾁｪｯｸ有り C/D非送出

2 3 7 6

読取り可
ﾓｼﾞｭﾗｽ 16 ﾁｪｯｸ有り C/D送出

2 3 7 7

CODE39読取り、C/D付加設定

読取り禁止

2 4 7 0

［読取り可C/D無し］

2 4 7 1

読取り可 C/D有 C/D非送出

2 4 7 2

読取り可 C/D有 C/D送出

2 4 7 3

JAN/EAN/UPC読取り、C/D付加設定

読取り禁止

2 5 7 0

読取り可(EAN-13 ﾌｫｰﾏｯﾄ)
C/D有 C/D非送出

2 5 7 2

［読取り可(EAN-13 ﾌｫｰﾏｯﾄ)
C/D有 C/D送出］

2 5 7 3

読取り可(UPC-A ﾌｫｰﾏｯﾄ)
C/D有 C/D非送出

2 5 7 4

読取り可(UPC-A ﾌｫｰﾏｯﾄ)
C/D有 C/D送出

2 5 7 5

UPC-E C/D付加設定

読取り可 C/D有 C/D非送出
ナンバーシステム'0'送出

読取り可 C/D有 C/D送出
ナンバーシステム'0'送出

読取り可 C/D有 C/D非送出
ナンバーシステム'0'非送出

読取り可 C/D有 C/D非送出
ナンバーシステム'0'非送出

4-1-2 <FNC1>任意変換設定（CODE128/EAN-128）

CODE128/EAN-128 の<FNC1>（ファンクションキャラクタ1）を任意のデータに変換します。デフォルト値は以下のように設定されています。

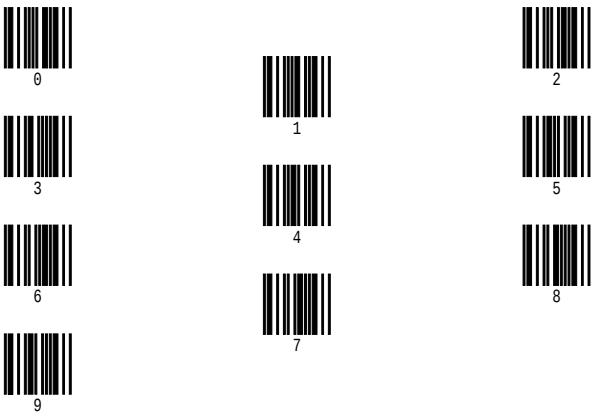
KB/IF　仕様 … “Tab［09h］”キー
RS232C　仕様 … “GS［1Dh］”コード

本設定には全てオプションコード（3桁）設定が必要です。

①コマンドコード

＜FNC1＞任意変換設定

②オプションコード



◆設定例…読取った<FNC1>コードを“SP[20H]”キーに変換し、データ出力を行う場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『<FNC1>任意変換設定 “2910”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表（次ページ）から“SP”に該当する3桁“032”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します（表の見方 “SP” → 032 ＋ @（0） = 032）。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘ ＊ ’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

4-1-3 読取りデータ桁数設定

読取ったバーコードデータの送出先頭桁、送出桁数を設定することで必要なデータだけを抜取り、パソコンに送出することができます。また、最小/最大読取り桁数を設定することで、設定桁範囲外のバーコードを読取らないようにできます。
本設定には全てオプションコード（3桁）設定が必要です。

①コマンドコード

データ桁数制限設定

最小読取り桁数

送出先頭桁

送出桁数

最大読取り桁数

②オプションコード

◆設定例…バーコードの読取りにおいて、最小読取り桁数を6桁に設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『最小読取り桁数設定 “2900”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③6桁に設定する3桁のオプションコードとして、“006”を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

4-2 データ伝送設定

4-2-1 データ伝送フォーマット

読込んだバーコードデータは、下記のフォーマットでパソコンへ送出します。

A	B	C	D	E	バーコードデータ	F	G

4-2-2 データ伝送機能一覧

A	**先頭コード付加（1桁）**	■付加コード **FULL KEY** 改行 **TEN KEY** 改行 実行 **KEY(Ctrl)** その他、任意データ	設定ページ 25
◎読取ったデータの先頭に、任意のデータを付加することができます。			
B	**データタイプコード付加（1桁）**	■付加データタイプ バーコード　→　B	設定ページ 27
◎読取ったデータの前に、バーコードのデータタイプを付加することができます。			
C	**データ体系コード付加（1桁）**	■データ体系コード 設定１～６	設定ページ 27
◎読取ったデータの前に、バーコードの体系コードを付加することができます。			
D	**入力データ桁数付加**	■付加桁数 ３桁（001～099） ２桁（01～99） 10 進数表示	設定ページ 29
◎読取ったデータの桁数を、データの前に付加することができます。			
E	**スタートコード付加（1桁）**	■付加コード **CODE39** → ＊ **CODABAR**→ **A,B,C,D** **a,b,c,d**	設定ページ 29
◎読取ったデータに、スタートコードを付加するかしないか設定することができます。			
F	**ストップコード付加（1桁）**	■付加コード **CODE39** → ＊ **CODABAR**→ **A,B,C,D** **a,b,c,d**	設定ページ 29
◎読取ったデータに、ストップコードを付加するかしないか設定することができます。			
G	**後頭コード付加（1桁）**	■付加コード **FULL KEY** 改行 **TEN KEY** 改行 実行 **KEY(Ctrl)** その他、任意データ	設定ページ 30
◎読取ったデータの後ろに、任意のデータを付加することができます。			

4-2-3 データ伝送機能の設定

(A) 先頭コード付加

読取ったバーコードデータの前に、任意のデータを付加することができます。

①コマンドコード

先頭コード付加設定

［無付加］ 2 5 0 0

FULL KEY 改行 2 5 0 1

TEN KEY 改行 2 5 0 2

実行 KEY(Ctrl) 2 5 0 3

任意データ付加 *1 2 5 0 4

【備 考】 *1) 任意データ付加 (2504) を設定した場合、②オプションコード(3桁)を入力してください。

②オプションコード

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

◆設定例…バーコードのデータに“H”のコードを先頭付加コードとして設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『先頭コード付加設定 “2504” (任意データ付加)』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表 (次ページ) から“H”に該当する3桁“072”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します (表の見方 “H” → 064 + @(8) = 072)。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘＊’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

(B) データタイプコード付加

読取ったバーコードにデータタイプとして‘B’を付加することができます。
磁気カードや他の入力データとの区別のためにデータに付加します。

①コマンドコード

データタイプコード付加設定

［無付加］

付加

(C) データ体系コード付加

読取ったバーコードの種類を表すデータ体系コードを付加できます。
複数のバーコードを区別するために有効な設定です。

①コマンドコード

データ体系コード付加設定

［無付加］

付加・設定 1

付加・設定 2

付加・設定３

付加・設定４

付加・設定５

付加・設定６

各設定（付加･設定1～設定6）のデータ体系コードは次ページを参照してください。

■データ体系コード
各設定におけるデータ体系コードは以下のようになります。

2771:設定1

JAN−13／EAN−13	W
JAN−8／EAN−8	W
UPC−A	W
UPC−E	W
CODABAR	S
CODE39	3
インターリーブド2of5	I
スタンダード2of5	F
CODE93	L
CODE128	K
EAN−128	E

2772:設定2

JAN−13／EAN−13	A
JAN−8／EAN−8	A
UPC−A	A
UPC−E	A
CODABAR	C
CODE39	B
インターリーブド2of5	F
スタンダード2of5	G
CODE93	E
CODE128	D
EAN−128	K

2773:設定3

JAN−13／EAN−13	A
JAN−8／EAN−8	B
UPC−A	A
UPC−E	C
CODABAR	N
CODE39	M
インターリーブド2of5	I
スタンダード2of5	H
CODE93	L
CODE128	K
EAN−128	W

2774:設定4

JAN−13／EAN−13	A
JAN−8／EAN−8	B
UPC−A	A
UPC−E	E
CODABAR	N
CODE39	C
インターリーブド2of5	I
スタンダード2of5	H
CODE93	L
CODE128	K
EAN−128	W

2775:設定5

JAN−13／EAN−13	A
JAN−8／EAN−8	B
UPC−A	A
UPC−E	C
CODABAR	X
CODE39	Y
インターリーブド2of5	Z
スタンダード2of5	H
CODE93	L
CODE128	K
EAN−128	W

2776:設定6

JAN−13／EAN−13	F
JAN−8／EAN−8	FF
UPC−A	A
UPC−E	E
CODABAR	N
CODE39	M
インターリーブド2of5	I
スタンダード2of5	H
CODE93	L
CODE128	K
EAN−128	W

(D) 入力データ桁数付加

読取ったバーコードのデータ桁数をデータの前に付加することができます。

①コマンドコード

入力データ桁数付加設定

［無付加］

2 8 7 0

３桁付加

2 8 7 1

２桁付加

2 8 7 2

(E), (F) スタート／ストップコード付加

CODE39 または、CODABAR (NW7) のスタート／ストップコードを読取ったデータの前後に付加することができます。

①コマンドコード

CODE39 スタート/ストップコード付加設定

［無付加］

2 6 7 5

付加

2 6 7 6

CODABAR スタート/ストップコード付加設定

無付加

2 6 7 0

［a/b/c/d 付加］

2 6 7 3

A/B/C/D 付加

2 6 7 4

(G) 後頭コード付加

読取ったバーコードデータの後ろに、任意のデータを付加することができます。

①コマンドコード

後頭コード付加設定

［無付加］ 2 7 0 0

FULL KEY 改行 2 7 0 1

TEN KEY 改行 2 7 0 2

実行 KEY(Ctrl) 2 7 0 3

任意データ付加 *1 2 7 0 4

【備 考】 *1) 任意データ付加 (2704) を設定した場合、②オプションコード(3桁)を入力してください。

②オプションコード

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

◆設定例…バーコードのデータに“J”のコードを後頭付加コードとして設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『後頭コード付加設定 “2704” (任意データ付加)』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表 (次ページ) から“J”に該当する3桁“074”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します (表の見方 “J” → 064 + @(10) = 074)。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘＊’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

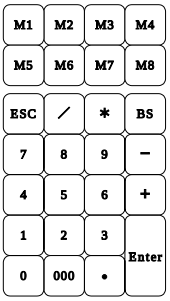
【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

5. テンキー設定

5-1 KB/IF仕様

本機は、デフォルト状態において以下のキーデータ出力が行えます。

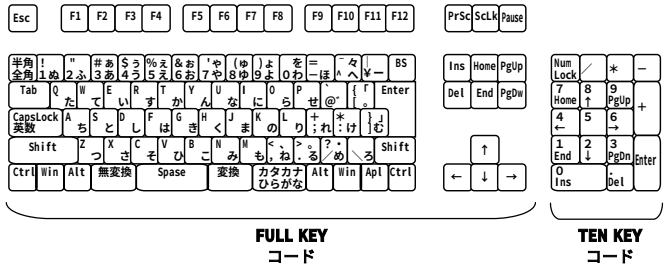
●本機テンキー



… “M1～M8”は 109(106)キーボードの F1～F8 を出力します。

… 演算キー(／, ＊, －, ＋)及び、“．”は、TEN KEY コードを出力。
それ以外は、FULL KEY コードを出力。
“000”キーは、FULL KEY コードの“0”キーを連続３回出力。

●キー配置（日本語１０９キーボード）



次ページからの設定を行うことで、本機テンキーを他のキーに割りあてることや、
1つのテンキー入力で『 Ctrl + P 』を出力するなど、運用にあわせたキー出力を行うことが可能となります。
本機から出力できるキーは、日本語109(106)キーボード(上記)のコードのみです。

5-1-1 キー出力機能の一覧（KB/IF 仕様）

■テンキー入力設定 ◎本機テンキーの入力を許可／禁止します。	■入力設定 **許可／禁止**	設定ページ 34
■数字キー（0～9）コード切替え ◎数字キー(0～9)は、キーコードの種別を変更することが可能です。	■出力コード **TEN KEY** **FULL KEY** **KB I/F 仕様のみ**	設定ページ 35
■任意キー、モディファイアキー初期化 ◎任意キー設定、モディファイアキーの設定を全て初期化（キー刻印通りに）します。		設定ページ 35
■任意キー設定 ◎数字キー(0～9,000)以外のキーに任意のキーを設定することができます。	■任意キー 日本語 109(106) キーボード	設定ページ 36
■モディファイアキー設定 ◎数字キー(0～9,000)以外のキーに、Ctrl，Alt，Shift の各キーを付加することができます。	■設定キー **Alt + F** **Ctrl + P** **Shift + A　など**	設定ページ 38

5-1-2 テンキー入力設定（KB/IF 仕様）

本機テンキーの入力を許可／禁止することができます。

KB／IF仕様

①コマンドコード

テンキー入力設定

［許可］

禁止 ***1**

［備 考］ *1）テンキー入力設定を禁止にしても、セットアップモード中はテンキー入力が可能です。

5-1-3 数字キー（0～9）コード切替え設定（KB/IF 仕様）

数字キー(0～9)は、設定により出力キーコードを切替えることができます。
本設定は、本機テンキーでのキー出力をする際にのみ有効です。
他の入力データ（磁気カード、バーコード）の出力には影響を与えません。

①コマンドコード

数字キー切替え設定

TEN KEY 出力

1 3 1 0

TEN KEY 出力
(データ送信後 NumLock 消灯)

1 3 1 1

[FULL KEY 出力]

1 3 1 3

【備 考】 TEN KEY、FULL KEY コードについては P.33 の図を参照してください。

1311：TEN KEY 出力（データ送信後 NumLock 消灯）
ノートパソコンを使用する場合に設定します。この設定により、ノートパソコン特有の NumLock 問題※1を気にすることなく、テンキー入力ができます。

※1) Numlock問題とは…
ノートパソコン上キーボードからテンキーデータを入力する場合 NumLock を ON にします。
この時、ノートパソコンの一部が数字キー固定となってしまい通常の英数字文字が入力できない
不便なことを指します。

5-1-4 任意キー、モディファイアキー初期化設定（KB/IF 仕様）

本設定で任意キー、モディファイアキー設定の内容を初期化します。

①コマンドコード

任意キー、モディファイアキー初期化設定

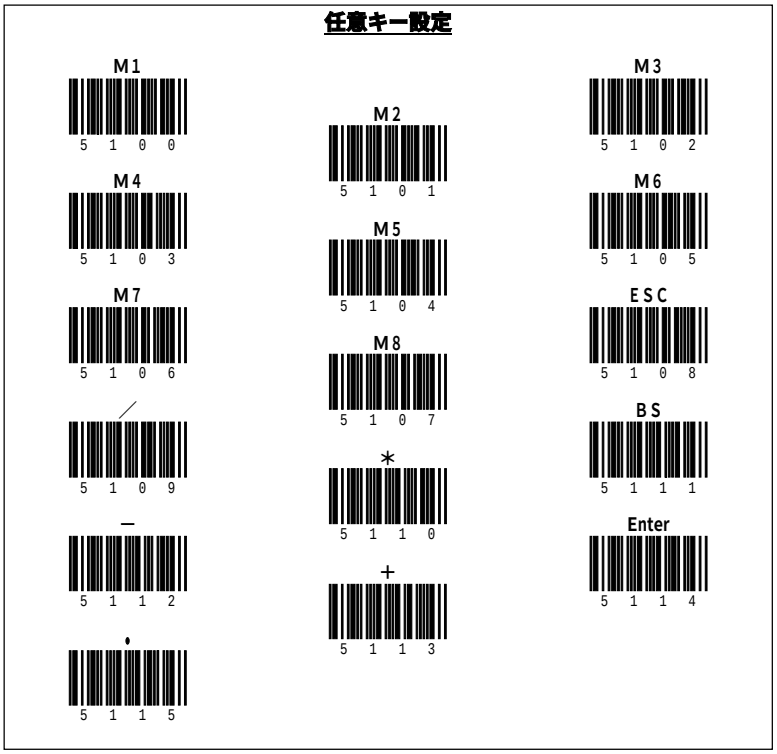
5 0 0 0

【備 考】 初期化は全てのキーについて行います。よって、一部のキーを初期化するには
デフォルト値を、任意キー、モディファイアキー設定にて行ってください。

5-1-5 任意キー設定 (KB/IF 仕様)

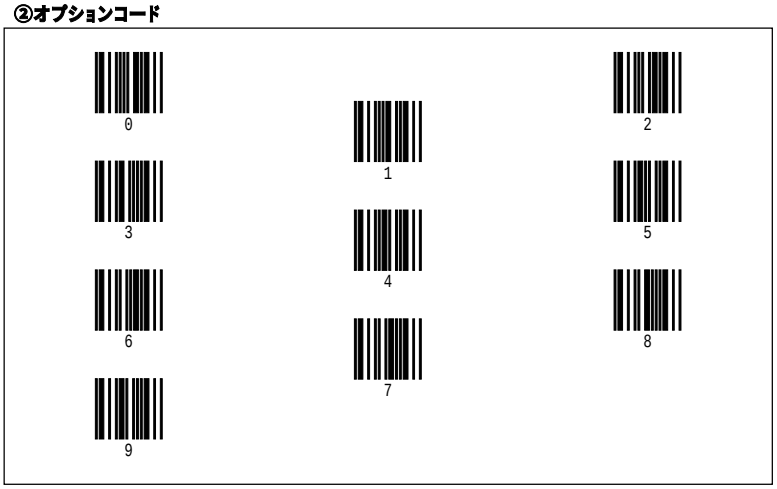
数字キー(0～9, 000)以外のキーに任意のキーコードを割りあてることができます。
運用に合わせて、設定を行って下さい。

①コマンドコード



【備 考】 設定するキー位置を上記コマンドコードにて選択後、次ページのオプションコードを使用し、設定するキー番号を3桁入力する必要があります。

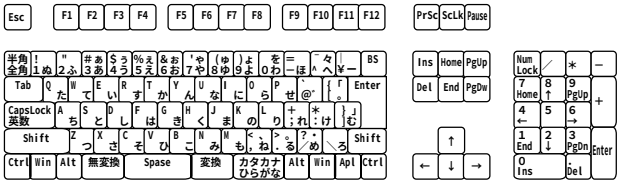
②オプションコード



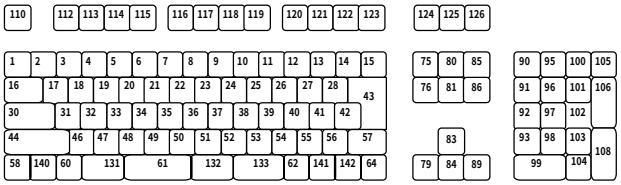
◆設定例…本機 M1 キー部分に任意キーとして“F”キーを割りあてる場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『任意キー設定 “5100”（M1部分）』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③キー配置（下図）及び、キー番号（下図）より“F”キーに該当する3桁コード“034”をオプションコードとして本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します.
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回のセットアップ設定を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

●キー配置（日本語109キーボード）



●キー番号（日本語109キーボード）

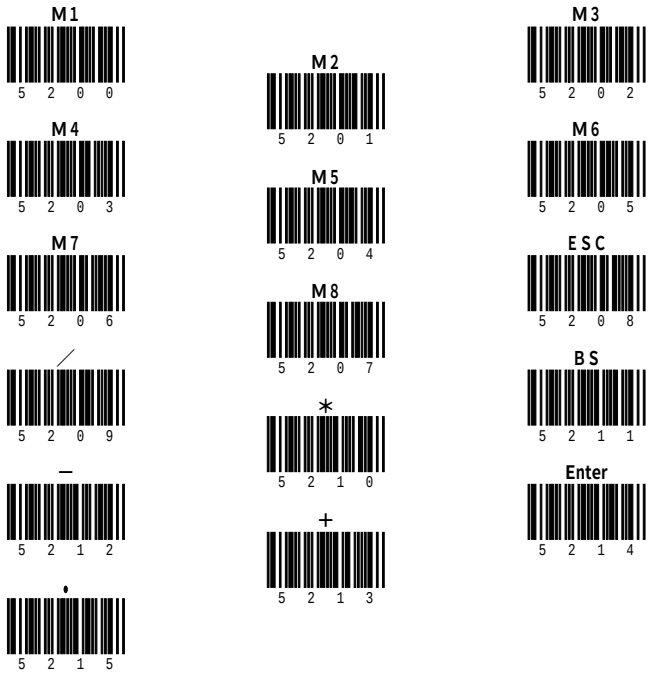


5-1-6 モディファイアキー設定 (KB/IF 仕様)

数字キー(0～9, 000)以外のキーにCtrl／Alt／Shiftキーを付加することができます。
運用に合わせて、設定を行って下さい。

①コマンドコード

任意データ付加 ***1**



【備 考】 設定するキー位置を上記コマンドコードにて選択後、次ページのオプションコードを使用し、設定するキーを3桁入力する必要があります。

②オプションコード

モデファイアキー設定用オプションコード

無付加

0

付加

1

◆設定例…本機 M1キー部分に“Alt + F”を割りあてる場合。
（任意キーとして“F”キー、モディファイアキーとして“Alt”キーを付加します。
任意キーについての詳細は、前項「 5-1-5 任意キー設定(KB/IF 仕様) 」を参照してください。）

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『任意キー設定 “5100”（M1部分）』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③“F”キーに該当する3桁コード“034”をオプションコードとして入力します。
④『モディファイアキー設定“5200”（M1部分）』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
⑤Altキーを付加するために、3桁コード“010”（下表参照）をオプションコードとして本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
⑥『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑦セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

注）オプションコードは全て3桁で設定します。
モディファイアキーでの設定については、他のオプションコードと異なります。

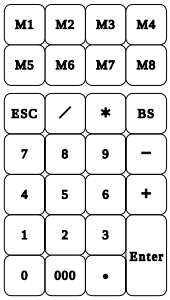
［オプションコード］
1桁目：Ctrl キー ＋ 2桁目：Alt キー ＋ 3桁目：Shift キー

オプションコード（３桁）	Ctrl キー	Alt キー	Shift キー
０００	－	－	－
１００	付加	－	－
０１０	－	付加	－
００１	－	－	付加
１１０	付加	付加	－
１０１	付加	－	付加
０１１	－	付加	付加
１１１	付加	付加	付加

5-2 RS232C仕様

本機は、デフォルト状態において以下のデータ出力を行います。

●本機テンキー



… “M1～M8”は、下表 PF1～PF8 (E0h～E8h) を出力します。

… 下表参照してください。
“Enter”は、下表 LF (0Ah) を出力します。
“000”キーは、下表“0” (30h) を連続３回出力します。

●コード表

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	＊	＋	,	－	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	＜	＝	＞	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	_
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8								
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

5-2-1 キー出力機能の一覧 (RS232C 仕様)

■テンキー入力設定 ◎本機テンキーの入力を許可／禁止します。	■入力設定 **許可／禁止**	設定ページ 41
■任意キー初期化 ◎任意キー設定の設定を全て初期化します。		設定ページ 41
■任意キー設定 ◎数字キー(0～9,000)以外のキーに任意のデータを設定することができます。	■任意キー **任意データ表**	設定ページ 42

5-2-2 テンキー入力設定 (RS232C 仕様)

本機テンキーの入力を許可／禁止することができます。

①コマンドコード

テンキー入力設定

[許可]

1 3 4 0

禁止 ***1**

1 3 4 1

[備 考] *1) テンキー入力設定を禁止にしても、セットアップモード中はテンキー入力が可能です。

5-2-3 任意キー初期化設定 (RS232C 仕様)

本設定で任意キー設定の内容を初期化します。

①コマンドコード

任意キー初期化設定

5 0 0 0

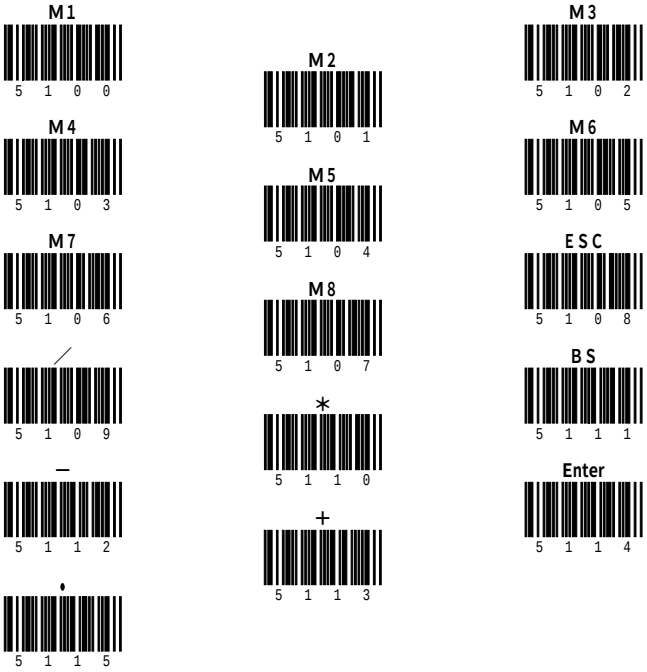
[備 考] 初期化は全てのキーについて行います。よって、一部のキーを初期化するには デフォルト値を、任意キー設定にて行ってください。

5-2-4 任意キー設定 (RS232C 仕様)

数字キー(0～9, 000)以外のキーに任意のデータを割りあてることができます。
運用に合わせて、設定を行って下さい。

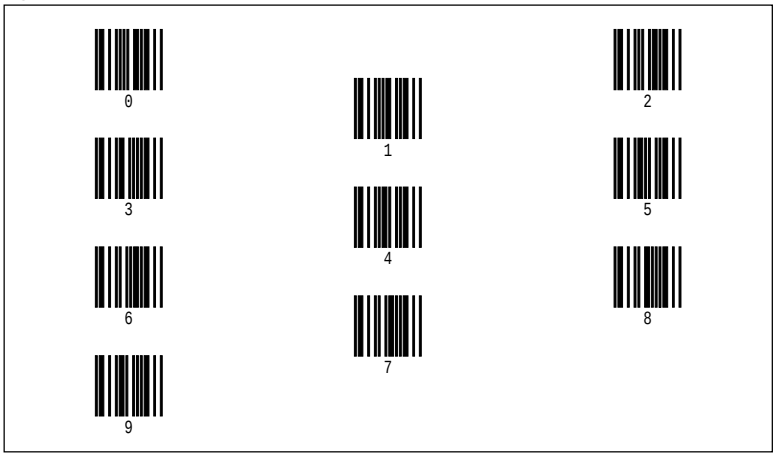
①コマンドコード

任意キー設定



【備 考】 設定するキー位置を上記コマンドコードにて選択後、次ページのオプションコードを使用し、設定するキー番号を3桁入力する必要があります。

②オプションコード



◆設定例…本機 M1 キー部分に任意キーとして“S”コードを割りあてる場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『任意キー設定 “5100”（M1部分）』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表より“S”キーに該当する3桁コード“083”をオプションコードとして本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します（表の見方 “S” → 080 + @（3） = 083）。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回のセットアップ設定を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	_
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8								
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

6. ＲＳ1コネクタ接続データ設定

6-1 ＲＳ1コネクタ接続について

RS1 コネクタ接続とは、RS232C 通信で本機コネクタ（表記 RS1）に接続できるものを指します。

■KB/IF 仕様

弊社の設定したタッチスキャナを接続する場合又は、通信プロトコルで設定可能な RS232C 機器を使用する場合に使用します。

■RS232C 仕様

弊社の設定したタッチスキャナを接続する場合に使用してください。

■通信パラメータ ◎本機に接続する通信機器にあわせて、通信パラメータの設定ができます。	■通信設定 通信速度 キャラクタ長 ＆ ストップビット パリティ ヘッダ ターミネータ	設定ページ 46
■通信プロトコル ◎接続機器と本機の通信機器のプロトコルを設定することができます。	■プロトコル ハンディターミナル Ｍ４４０４ ＢＨＳ－６０００ ＸＯＮ/ＸＯＦＦ ＡＣＫ/ＮＡＫ ＲＴＳ制御 タッチスキャナ 無手順	設定ページ 48
■受信タイムアウト ◎接続機器からのデータ受信中に発生する受信タイムアウト時間を設定することができます。	■タイムアウト値 10ms～∞	設定ページ 49
■受信データ桁数 ◎受信データに対して桁数を設定し、受信するデータを限定することができます。	■桁数設定 最小受信桁数 送出先頭桁数 送出桁数 最大受信桁数	設定ページ 50

6-1-1 通信パラメータ設定

接続する通信機器に合わせて、通信パラメータを設定することができます。
接続機器の通信パラメータを確認し、本設定を行ってください。

①コマンドコード

通信速度設定

19200bps

4 0 9 0

9600bps

4 0 9 1

4800bps

4 0 9 2

[2400bps]

4 0 9 3

1200bps

4 0 9 4

600bps

4 0 9 5

300bps

4 0 9 6

38400bps

4 0 9 9

データ長、ストップビット設定

[8 ビット、1 ストップ]

4 1 9 0

8 ビット、2 ストップ

4 1 9 1

7 ビット、1 ストップ

4 1 9 2

7 ビット、2 ストップ

4 1 9 3

パリティ設定

[None]

4 2 9 0

Even

4 2 9 1

Odd

4 2 9 2

ヘッダ設定

None

4 4 9 0

[STX]

4 4 9 1

ターミネータ設定

CR

4 5 9 0

[ETX]

4 5 9 1

CR+LF

4 5 9 2

LF

4 5 9 3

6-1-2 通信プロトコル設定

接続する機器にあわせた通信プロトコルを設定することができます。
接続機器の通信プロトコルを確認し、本設定を行ってください。
複数のプロトコルを同時使用することはできません。

①コマンドコード

通信プロトコル設定

ハンディターミナル *1
4 7 9 0

M4404
4 7 9 1

BHS-6000
4 7 9 2

ACK/NAK
4 7 9 3

XON/XOFF
4 7 9 4

RTS 制御
4 7 9 6

［タッチスキャナ］*2
4 7 9 7

無手順
4 7 9 8

【注意】

***1**

株式会社デンソーウェーブ製 BHT-2000 シリーズを設定しています。
BHT プロトコルをサポートしますが以下の制限及び、注意事項があります。

1. BHT プロトコル：クラス1のみ対応しています（クラス2には対応していません）。
2. シーケンス番号のチェックは行いません。
3. データのアップロードのみをサポートします。
4. 通信条件を本機と BHT 端末間で同期をとる必要があります。

***2**

タッチスキャナには、以下の製品を設定しています。

メーカ	型式	備考
松下産業機器株式会社	ZE-842MUPJS	６５mmタッチ　７５ｃmケーブル
株式会社デンソーウェーブ	ＨＣ３６ⅡＴＲ	６０mmタッチ　2mケーブル
株式会社デンソーウェーブ	ＨＣ６１ＴＲ	100mmタッチ　2mケーブル

6-1-3 受信タイムアウト設定

接続機器からのデータ受信における受信タイムアウト時間を設定することができます。

①コマンドコード

受信タイムアウト設定

10ms
4 6 9 0

20ms
4 6 9 1

50ms
4 6 9 2

100ms
4 6 9 3

200ms
4 6 9 4

500ms
4 6 9 5

[1s]
4 6 9 6

2s
4 6 9 7

5s
4 6 9 8

∞
4 6 9 9

6-1-4 受信データ桁数設定

接続機器から受信するデータの送出先頭桁、送出桁数を設定することで必要なデータのみを抜取り、パソコンに送出することができます。また、最小／最大読取り桁数を設定することで、設定桁範囲外のデータを受信しないようにできます。
本設定には全てオプションコード（4桁）設定が必要です。

①コマンドコード

データ桁数制限設定

最小受信桁数
4 9 0 0

送出先頭桁
4 9 0 1

送出桁数
4 9 0 2

最大受信桁数
4 9 0 3

②オプションコード

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9

◆設定例…ＲＳ１コネクタ接続データ受信において、最小受信桁数を7桁に設定する場合。

①セットアップＳＷを押して、本機をセットアップモードにします。
②『最小読取り桁数設定 “4900”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③7桁に設定する4桁のオプションコードとして、“0007”を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップＳＷを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

6-2 データ伝送設定

6-2-1 データ伝送フォーマット

ＲＳ1コネクタ接続された通信機器から受信したデータは、下記のフォーマットでパソコンへ送出します。

A	B	C	ＲＳ1コネクタ接続受信データ	D

6-2-2 データ伝送機能一覧

A	先頭コード付加（1桁）	■付加コード FULL KEY 改行 TEN KEY 改行 実行 KEY(Ctrl) その他、任意データ	設定ページ 52
◎受信データの先頭に、任意のデータを付加することができます。			

B	データタイプコード付加（1桁）	■付加データタイプ ＲＳ１接続データ →　R	設定ページ 54
◎受信データの前に、オプション接続データのデータタイプを付加することができます。			

C	受信データ桁数付加	■付加桁数 ３桁（001～099） ２桁（01～99） ４桁（0001～2000） 10 進数表示	設定ページ 54
◎受信データの桁数を、データの前に付加することができます。			

D	後頭コード付加（1桁）	■付加コード FULL KEY 改行 TEN KEY 改行 実行 KEY(Ctrl) その他、任意データ	設定ページ 55
◎受信データの後ろに、任意のデータを付加することができます。			

6-2-3 データ伝送機能の設定

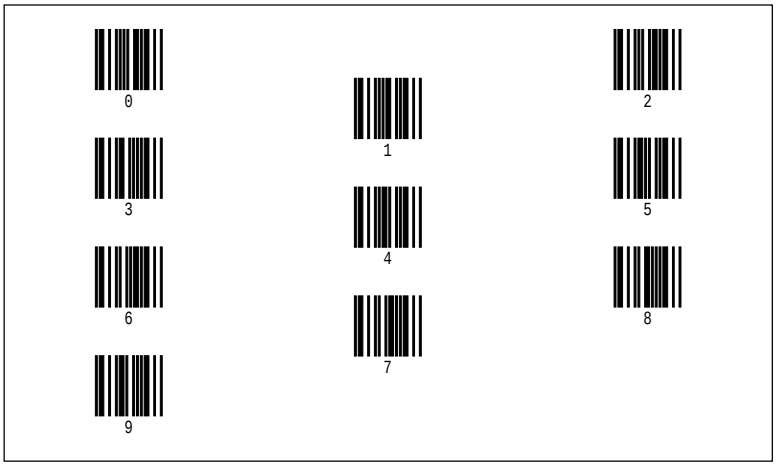
(A) 先頭コード付加

ＲＳ１コネクタ接続から受信したデータ前に、任意のデータを付加することができます。

①コマンドコード

【備 考】 ***1**) 任意データ付加 (4504) を設定した場合、②オプションコード(3桁)を入力してください。

②オプションコード



◆設定例…受信したデータに“U”のコードを先頭付加コードとして設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『先頭コード付加設定 “4504” (任意データ付加)』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表 (次ページ) から“U”に該当する3桁“085”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します (表の見方 “U” → 080 + @(5) = 085)。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘＊’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

(B) データタイプコード付加設定

ＲＳ１コネクタ接続から受信したデータにデータタイプとして‘R’を付加することができます。磁気カード、バーコードデータとの区別をつけるためにデータに付加します。

①コマンドコード

データタイプコード付加設定

［無付加］

付加

(C) 受信データ桁数付加設定

ＲＳ１コネクタ接続から受信したデータ桁数を付加することができます。

①コマンドコード

入力データ桁数付加設定

［無付加］

３桁付加

２桁付加

４桁付加

(D) 後頭コード付加設定

ＲＳ１コネクタ接続から受信したデータの後ろに、任意のデータを付加できます。

①コマンドコード

後頭コード付加設定

［無付加］

4 7 0 0

FULL KEY 改行

4 7 0 1

TEN KEY 改行

4 7 0 2

実行 KEY(Ctrl)

4 7 0 3

任意データ付加 *1

4 7 0 4

［備 考］ *1) 任意データ付加 (4704) を設定した場合、②オプションコード(3桁)を入力してください。

②オプションコード

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

◆設定例…受信したデータの後ろに“Q”のコードを後頭付加コードとして設定する場合。

①セットアップSWを押して、本機をセットアップモードにします。
②『後頭コード付加設定 “4704” (任意データ付加)』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。
③任意データ表 (次ページ) から“Q”に該当する3桁“081”をオプションコードとして、本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します (表の見方 “Q” → 080 ＋ @(1) = 081)。
④『保存部書込み “9001”』を本機テンキー、またはタッチスキャナで入力し、今回の設定内容を保存します。
⑤セットアップ終了の場合はセットアップSWを押すか、『セットアップ終了 “9999”』を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力します。

■任意データ表（KB/IF 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		↑	↓	→	←	Home			BS	Tab	TEN KEY 改行			FULL KEY 改行		
016+@																実行
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@	PF1	PF2	PF3	PF4	PF5	PF6	PF7	PF8	PF9	PF10	PF11	PF12	PF13	PF14	PF15	PF16
240+@	PF17	PF18	PF19	PF20	PF21	PF22	PF23	PF24								

【注意】・本表は、キーボードのキーコードを示しています。
・PF1～PF12 は、キーボードの F1～F12 を示しています。
・PF13～PF24 は、Shift＋F1～Shift＋F12 を示しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは‘＊’となります。

■任意データ表（RS232C 仕様）

@ / コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
000+@		SOH	STX	ETX	EOT	ENQ	ACK	BEL	BS	HT	LF	VT	FF	CR	SO	SI
016+@	DLE	DC1	DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB	CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS	RS	US
032+@	SP	!	“	#	$	%	&	‘	(	)	*	+	,	−	.	／
048+@	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
064+@	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
080+@	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	W	Z	[	¥	]	^	＿
096+@		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
112+@	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	～	DEL
128+@																
144+@																
160+@		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
176+@	―	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
192+@	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
208+@	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
224+@																
240+@																

【注意】・本表は、JIS X 0201 ローマ字・片仮名用８単位符号に準拠しています。
・空白の部分を設定すると、任意データは設定コードの１６進数となります。

7. ＲＳ２コネクタ接続データ設定

7-1 ＲＳ２コネクタ接続について

RS2 コネクタ接続とは、RS232C 通信で本機コネクタ（表記 RS2）に接続できるものを指します。

■KB/IF 仕様

RS1、RS2 コネクタ両方を使用して RS232C 機器を使用する場合に使用します。
この場合、RS2 コネクタにはタッチスキャナを接続してください。

■RS232C 仕様

本機からのパソコン等へのデータ送信に使用します。
データ受信は、本機からのデータ送信に対する応答データのみ受信可能です。
本仕様においてタッチスキャナ等入力機器は、RS1 コネクタに接続してください。

■通信パラメータ ◎本機と接続する通信機器にあわせて、通信パラメータの設定ができます。	■通信設定 通信速度 キャラクタ長 ＆ ストップビット パリティ ヘッダ ターミネータ	設定ページ 58
■通信プロトコル ◎本機と接続する通信機器のプロトコルを設定することができます。	■プロトコル ＸＯＮ/ＸＯＦＦ ＡＣＫ/ＮＡＫ 無手順 タッチスキャナ	設定ページ 59
■データ送信モード ◎本機からデータ送信時のＲＴＳラインの状態を設定することができます。	■モード エミュレータレディ データレディ	設定ページ 60
■CTS 監視タイムアウト ◎本機からデータ送信時に監視しているＣＴＳラインのタイムアウト時間を設定することができます。	■タイムアウト値 ２００ms～∞ 監視なし	設定ページ 60
■ACK／NAK 応答タイムアウト ◎本機からデータ送信後応答待ちタイムアウト時間を設定することができます。	■タイムアウト値 １０ms～∞	設定ページ 61

7-1-1 通信パラメータ設定

接続する通信機器に合わせて、通信パラメータを設定することができます。
接続機器の通信パラメータを確認し、本設定を行ってください。

①コマンドコード

通信速度設定

38400bps
1 2 1 0

19200bps
1 2 1 1

9600bps
1 2 1 2

4800bps
1 2 1 3

[2400bps]
1 2 1 4

1200bps
1 2 1 5

データ長、ストップビット設定

[8 ビット、1 ストップ]
1 2 2 0

8 ビット、2 ストップ
1 2 2 1

7 ビット、1 ストップ
1 2 2 2

7 ビット、2 ストップ
1 2 2 3

パリティ設定

[None]
1 2 3 0

Even
1 2 3 1

Odd
1 2 3 2

ヘッダ設定

[None]

STX

ターミネータ設定

[CR]

ETX

LF

CR + LF

EOT

None

7-1-2 通信プロトコル設定

接続する通信機器にあわせた通信プロトコルを設定することができます。
接続機器の通信プロトコルを確認し、本設定を行ってください。
複数のプロトコルを同時使用することはできません。

①コマンドコード

通信プロトコル設定

無手順 ***1**

XON/XOFF ***2**

ACK/NAK ***3**

【備 考】

***1**) KB/IF 仕様で、タッチスキャナを接続する際には、必ず設定してください。

***2**) データ送信途中でも XON を受信することで、データ送信を止めることができます。
XON 受信後、1分間に XOFF を受信しない場合には、本機は残送信データを破棄します。

***3**) 『7-1-5 ACK/NAK 応答タイムアウト設定』が有効になります。本機からデータ送信後、NAK 応答を受信した場合又は、設定した応答タイムアウト時間が経過した場合、データを再送信します。再送信は3回行います。3回を超える場合、ACK/NAK 応答待ちを終了し、送信データを破棄します。

7-1-3 データ送信モード設定

本機からデータ送信する際のＲＴＳラインの状態を設定することができます。

①コマンドコード

送信モード設定

［エミュレータレディ］*1

データレディ *2

［備 考］

*1） 電源ON後常時ＲＴＳラインをＯＮ状態にします。

*2） データ送信時のみＲＴＳラインをＯＮ状態にします。

7-1-4 ＣＴＳ監視タイムアウト設定

本機からデータ送信する際に監視しているＣＴＳラインの状態について、タイムアウト時間を設定することができます。データ送信時にＣＴＳラインが本設定時間より長い間Ｌｏｗ状態となった場合、本機は受信側を動作異常と認識し、送信データを破棄します。

①コマンドコード

ＣＴＳ監視タイムアウト設定

［200ms］

100ms

300ms

500ms

1s

2s

3s

5s

∞

監視なし

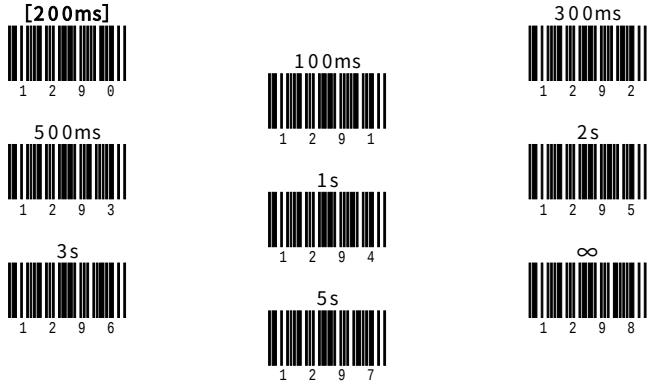
［備 考］ CTS ラインは、データ送信時に常時監視しています。

7-1-5 ACK／NAK応答タイムアウト設定

本機からデータ送信後の応答としてACK／NAK受信タイムアウト時間を設定することができます。本設定は、『7-1-2 通信プロトコル』でACK／NAKを設定したときに有効となります。

①コマンドコード

ACK／NAK応答タイムアウト設定



［備 考］ 上記タイムアウト時間をが経過して受信側からの応答がない場合又は、NAK 応答を受信した場合、本機は送信データを再送信します。
NAK 応答のデータ再送信とあわせて計3回の再送信を行います。

8. その他機能設定

その他本機機能設定を説明致します。

■伝送時間調整（文字間ディレイ） ◎本機から出力するデータの伝送時間を調整することができます。パソコンの運用環境に応じて、本設定を調整してください。	■設定時間 1ms～100ms	設定ページ 64

■出力文字の大小監視 ◎本機より出力する英字データの監視を行います。監視によってデータを大文字、小文字に変換して出力することができます。	■監視設定 監視無し(通常出力) 監視有り(小文字出力) 監視有り(大文字出力)	設定ページ 65

■KB/IF仕様接続対応 ◎データ出力に使用するキーボードインターフェースの設定をします。本機と接続するパソコンの使用環境に合わせて設定を行ってください。	■設定内容 NumLock 監視 CapsLock 監視 ローマ字監視 使用 OS （カタカタ出力方法）	設定ページ 66

■ブザー調整 ◎ブザー音量、本機電源 ON 時のブザー鳴動、データ送信時の鳴動タイミングを設定することができます。	■ブザー設定 音量　大、中、小 電源 ON 時　ON/OFF データ送信前、後	設定ページ 68

■セットアップ内容表示 ◎セットアップ設定を行い、保存した内容を確認することができます。		設定ページ 69

8-1 伝送時間調整設定（文字間ディレイ）

本機に入力されたデータ（磁気カード、バーコード、オプション接続）をパソコンへ
送出する際、各文字（キャラクタ）間の伝送時間を調整することができます。
パソコンの運用環境（機種、ＯＳ、アプリケーション）に合わせて調整を行ってください。

①コマンドコード

伝送時間調整設定

［1ms］
1 0 0 0

3ms
1 0 0 1

5ms
1 0 0 2

7ms
1 0 0 3

10ms
1 0 0 4

15ms
1 0 0 5

30ms
1 0 0 6

50ms
1 0 0 7

70ms
1 0 0 8

100ms
1 0 0 9

8-2 出力文字の大小監視設定

本機に入力されたデータ（バーコード、磁気カード、オプション接続データ）をパソコンへ送出する際、データの内容を監視し英字データを全て大文字、小文字のどちらかに固定してデータを送信することができます。

①コマンドコード

出力文字の大小監視設定

［監視無し］

監視有り
(全て小文字出力)

監視有り
(全て大文字出力)

例）磁気の入力データが“ＡｂＣｄＥｆｇ１２３４５”の場合

設定コード		出力結果
1400	監視無し	ＡｂＣｄＥｆｇ１２３４５
1401	監視有り（全て小文字出力）	ａｂｃｄｅｆｇ１２３４５
1402	監視有り（全て大文字出力）	ＡＢＣＤＥＦＧ１２３４５

8-3 ＫＢ/IF仕様接続対応設定

本機からデータ出力する際、接続している機器の環境に本設定を合わせてください。
設定が機器の環境と違う場合には、本機からの出力データが意図する内容にならないことがあります。

8-3-1 CapsLock 監視設定

パソコンの電源立上げ以降の CapsLock キー状態の監視について設定できます。
本機は、本設定をもとにパソコンへのデータ出力を行います。

①コマンドコード

CapsLcok 監視設定

［監視有り］

監視無し
（常時 CapsLock ON）

監視無し
（常時 CapsLock OFF）

【備 考】『監視無し』を設定した場合、必ずパソコンの CapsLock 状態と合わせて下さい。
状態が違う場合、大文字/小文字が反対に出力されます。

8-3-2 ローマ字モード監視設定

パソコンの電源立上げ以降のローマ字モード状態の監視について設定できます。
本機は、本設定をもとにパソコンへのデータ出力を行います。
本設定は、ＯＳとしてＭＳ－ＤＯＳを使用しているパソコンに対してのみ有効です。

①コマンドコード

ローマ字モード監視設定

監視有り
（電源 ON 時ローマ字 ON）

監視有り
（電源 ON 時ローマ字 OFF）

監視なし
（電源 ON 時ローマ字 ON）

［監視なし］
（電源 ON 時ローマ字 OFF）

【備 考】『監視無し』を設定した場合、必ずパソコンのローマ字モード状態と合わせて下さい。
状態が違う場合、文字が正常に出力されません。

8-3-3 NumLock 監視設定

パソコンの電源立上げ以降の NumLock キー状態の監視について設定します。
本機は、本設定をもとにパソコンへのデータ出力を行います。

①コマンドコード

NumLock 監視設定

監視有り

監視無し
（常時 NumLock ON）

監視無し
（常時 NumLock OFF）

［監視無し］
（FULL KEY 出力）

［データ出力例］

■TEN KEY 出力

1130：監視有り … NumLock状態を監視し、状態に合わせたデータ出力を行います。
1131：監視無し … NumLock状態を監視しません。パソコンのNumLock状態は、必ず、ON でなければ正常に数字データ等が表示されません。
1132：監視無し … NumLock状態を監視しません。パソコンのNumLock状態は、必ず、OFF でなければ正常に数字データ等が表示されません。

■FULL KEY 出力

1133：監視無し … NumLock状態は無関係となり、FULL KEY データを出力します。

8-3-4 使用ＯＳ設定

パソコンで使用しているＯＳを合わせるための設定です。
本設定は、磁気カードなどのカタカナデータを出力する際に必要となります。
使用されているパソコンに合わせた設定を行ってください。

①コマンドコード

使用ＯＳ設定

MS-DOS 使用

Windows3.1 使用

Windows95/98/NT4.0 使用
（Ctrl + shift + カタカナ）

［Windows95/98/NT4.0/2000］
Ctrl+英数

8-4 ブザー調整設定

ブザー音量を3段階で調整可能です。また、電源 ON 時の鳴動設定、データ送信時のブザー鳴動及び、タイミングを変更できます。

①コマンドコード

ブザー音量調整設定

小

中

[大]

電源 ON 時ブザー鳴動設定

[鳴動有り]

鳴動無し

データ送信時ブザー鳴動設定

[鳴動有り]

鳴動無し

ブザー鳴動タイミング設定

[データ送信前]

データ送信後

8-5 セットアップ内容表示

本機に保存されている設定内容を表示します。
保存については、「 9．セットアップ保存 」(P.71) を参照してください。

①コマンドコード

セットアップ内容表示

［説明］ 表示内容について以下に示します。

注) RS232C 仕様時、通信条件を固定(2400BPS,8 ﾋﾞｯﾄ,None ﾊﾟﾘﾃｨ,1 ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ)にして内容表示を行う必要があります (通信条件が違うと、正常に表示されません)。

```
+=====================================================+
+     ///// Specification Data of Message-Mode /////     +
+    Copyright(C) Nippon Systems Development CO.,LTD.   +
+    Unit Name : PDC-643-PS2  V1.02 Date : 01.11.01     +
+-----------------------------------------------------+
+ ------------- + KeyBoard Mode Setup Data + ---------- +
+                                                       +
+ 1006                                                  +
+                                                       +
+                                                       +
+ ------------- + RS-232C Mode Setup Data + ----------- +
+                                                       +
+ ------------- + IF Function Setup Data + ------------ +
+                                                       +
+ ------------- + Barcode Mode Setup Data + ----------- +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+ --------------- + Magnet Setup Data + ---------------- +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+ --------------- + Option Setup Data + ---------------- +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+ ------------- + Optional Key Setup Data + ----------- +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+                                                       +
+ --------------- + Buzzer Setup Data + ---------------- +
+                                                       +
+=====================================================+
```

■ PDC-643-XXX
XXX が PS2 の場合は KB/IF 仕様
XXX が RS の場合は RS232C 仕様

①キーボードインターフェース関係で設定しているコマンドコードを表示。ここでは、データ送信間（文字間）ディレイに３０ｍｓを設定。

②ＲＳ２コネクタ接続関連で設定しているコマンドコードを表示。

③ＩＦ関連で設定しているコマンドコードを表示。

④バーコード関連で設定しているコマンドコードを表示。

⑤磁気カード関連で設定しているコマンドコードを表示。

⑥オプション接続機器関連で設定しているコマンドコードを表示。

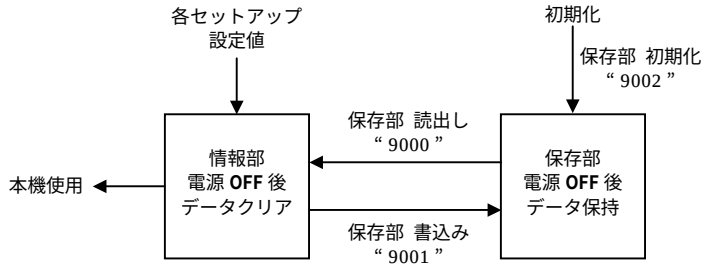
⑦テンキー関連で設定しているコマンドコードを表示

⑧ブザー関連で設定しているコマンドコードを表示。

9. セットアップ保存

9-1 保存部、情報部

セットアップにて設定したデータは必ず『 保存部書込み“9001” 』を行ってください。
セットアップで設定したデータは情報部に置かれます。情報部に置かれたデータは、
電源 ON の間は設定通りの動作を行いますが、電源を OFF すると全てクリアされます。



情報部と保存部の関係

情報部 ： 各設定したセットアップデータを格納します。
本機はこのデータをもとに動作します。
電源 OFF により、データはクリアします。
電源 ON により、データは保存部から読出し、セットします。

保存部 ： 保存部書込みにより、各設定したデータを保持します。
電源 ON/OFF に関係なく、データは保持されます。

設定したセットアップデータを保存部へ書込むことで、設定した情報が保護されます。
これにより、本機の電源が切れても次の使用時に同じ設定で使用が可能になります。

①コマンドコード

セットアップ保存設定

保存部読出し
9 0 0 0

保存部書込み
9 0 0 1

保存部初期化
9 0 0 2

保存部に関係する設定の使用方法を説明します。

■セットアップを保存する（保存部への書込み）

①セットアップスイッチを押してセットアップモードへ入る。
↓
②各セットアップを行い、設定を完了する。
↓
③保存部書込み　“9001”
↓
④セットアップ終了　“9999”

■設定をデフォルトに戻し使用する（保存部の初期化）

①セットアップスイッチを押してセットアップモードへ入る。
↓
②保存部初期化　“9002”
↓
③保存部読出し　“9000”
↓
④セットアップ終了“9999”

■今回の設定を取止め、元（以前の状態）に戻す（保存部の読出し）

①セットアップスイッチを押してセットアップモードへ入る。
↓
②保存部読出し　“9000”
↓
③セットアップ終了“9999”

9-2 セットアップ終了

セットアップの終了方法は次の通りです。
①セットアップスイッチ（本機底面 表記 SET）を押す。
②セットアップ終了“9999”を本機テンキー、またはタッチスキャナにて入力する。

①②のどちらかで、本機はブザーを“ピッピッピッピー”と鳴動後、LED が緑色点灯してセットアップを終了します。

①コマンドコード

セットアップ終了

10. コマンドコード早見表

10-1 コマンドコード

コマンドコード	内容	ページ
100X	伝送時間調整設定（文字間ディレイ）	…64
111X	CapsLock 監視設定	…66
112X	ローマ字モード監視設定	…66
113X	NumLock 監視設定	…67
114X	使用 OS 設定	…67
131X	数字キー（0～9）コード切替え設定	…35
134X	テンキー入力設定	…34,41
140X	出力文字の大小監視設定	…65

コマンドコード	内容（RS2コネクタ接続）	ページ
121X	通信速度設定	…58
122X	通信データ長、ストップビット設定	…58
123X	通信パリティ設定	…58
124X	通信プロトコル設定	…59
125X	通信ヘッダ設定	…59
126X	通信ターミネータ設定	…59
127X	データ送信モード設定	…60
128X	CTS監視タイムアウト設定	…60
129X	ACK/NAK応答タイムアウト設定	…61

コマンドコード	内容（バーコード関係）	ページ
201X	CODE128読取り設定	…17
202X	CODE93読取り設定	…18
203X	EAN-128読取り設定	…18
217X	インダストリアル2of5読取り、C/D 付加設定	…18
227X	インターリーブド2of5読取り、C/D 付加設定	…18
237X	CODABAR（NW7）読取り、C/D 付加設定	…19
247X	CODE39読取り、C/D 付加設定	…19
250X	先頭コード付加設定	…25
257X	JAN/EAN/UPC 読取り、C/D 付加設定	…19
267X	スタート/ストップコード付加設定	…29
270X	後頭コード付加設定	…30
277X	データ体系コード付加設定	…27
287X	入力データ桁数付加設定	…29
290X	読取りデータ桁数設定	…23
291X	<FNC1>任意変換設定	…21
297X	データタイプコード付加設定	…27

コマンドコード	内容（磁気カード関係）	ページ
308X	磁気カード入力設定	… 7
338X	JIS-Ⅱ読取り設定	… 8
348X	Unisys 読取り設定	… 8
350X	先頭コード付加設定	…11
368X	JIS-Ⅱ、Unisys ヘッダ付加設定	… 7
370X	後頭コード付加設定	…14
377X	データ体系コード付加設定	…13
388X	入力データ桁数付加設定	…13
390X	読取りデータ桁数設定	… 9
398X	データタイプコード付加設定	…13

コマンドコード	内容（ＲＳ１コネクタ接続）	ページ
409X	通信速度設定	…46
419X	通信データ長、ストップビット設定	…46
429X	通信パリティ設定	…46
449X	通信ヘッダ設定	…47
450X	先頭コード付加設定	…52
459X	通信ターミネータ設定	…47
469X	受信タイムアウト設定	…49
470X	後頭コード付加設定	…55
479X	通信プロトコル設定	…48
489X	受信データ桁数付加設定	…54
490X	受信データ桁数設定	…50
499X	データタイプコード付加設定	…54

コマンドコード	内容（テンキー関係）	ページ
500X	任意キー、モディファイアキー初期化設定	…35,41
510X	任意キー設定	…36,42
52XX	モディファイアキー設定	…38

コマンドコード	内容（その他）	ページ
800X	ブザー音量調節設定	…68
801X	電源 ON 時ブザー鳴動設定	…68
802X	データ送信時ブザー鳴動設定	…68
814X	ブザー鳴動タイミング設定	…68
9000	セットアップ保存部 読込み	…71
9001	セットアップ保存部 書込み	…71
9002	セットアップ保存部 初期化	…71
9101	セットアップ内容表示	…69
9999	セットアップ終了	…72

ご注意

(1) 本書の一部あるいは全部を無断で複写・転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
(3) お客様が機器を使用されました結果につきましては、責任を負いかねることがございます。あらかじめご了承ください。

PDC-643 セットアップマニュアル

2002年　2月　1日　第2版発行

発行　日本システム開発株式会社

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町30番12号
TEL　0797-74-2205　FAX　0797-74-2212

標準価格　\1,000　(BK0015A02-2)